

The 74th Annual Meeting of Japanese Stomatological Society

第74回 NPO法人

# 日本口腔科学会学術集会



テーマ

口腔科学を活かす

プログラム・抄録集

会期 2020年 4月15日(水) ▶ 17日(金)

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

大会長 高木 律男 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
顎顔面口腔外科学分野 教授

当初予定していた内容のとおり作成しています。予めご了承ください。

The 74th Annual Meeting of Japanese Stomatological Society

第74回 NPO法人

# 日本口腔科学会学術集会

プログラム・抄録集

テーマ

## 口腔科学を活かす

会期 2020年 4月15日(水) ▶ 17日(金)

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

大会長 高木 律男 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
顎顔面口腔外科学分野 教授

後援 新潟県歯科医師会

●学術集会事務局 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
顎顔面口腔外科学分野 内  
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274  
TEL: 025-227-2885 FAX: 025-223-5792

●運営事務局 株式会社 アド・メディック 内  
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310  
TEL: 025-282-7035 FAX: 025-282-7048  
E-mail: jss74@admedic.co.jp

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大のため、  
インターネットによる抄録学会 (4月15日～5月15日) に変更となりました。

# ご 挨拶

第74回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会

大会長 高木 律男 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
顎顔面口腔外科学分野 教授

第74回 NPO 法人日本口腔科学会総会・学術集会を開催するにあたり、一言ご挨拶させていただきます。この度新型コロナウイルス(COVID-19)感染の拡大に伴い、急遽「抄録学会」に変更せざるを得ず、皆様には多大なるご迷惑をおかけしていることと存じます。抄録集作成の段階で変更せざるを得ませんでしたので、まずはお詫びと御礼を兼ねて大会 HP および抄録集の大会長挨拶とさせていただきます。

令和2年2月末、第74回 NPO 法人日本口腔科学会総会・学術集会まで残すところ2か月を切り、抄録集もほぼ完成し、座長の割り振り、巻頭言でのご挨拶を考えていました。同時に正月頃から問題になり始めた COVID-19の拡大に、学会の開催をどのようにするべきか検討せざるを得ない状況になりました。3月11日予定の理事会も会議室での開催は中止となり、それを前に通常の学術大会を行うことを断念し、Web 開催とすることを審議していただきました。3月初めには通常の開催断念の旨を HP で通知させていただき、ほぼ同時に流行国への渡航自粛、国内流行地域への出張自粛、学校の休校等が推奨され、以後軒並みに大きな会議、送別会等々は中止となりました。この巻頭言を書き直している現在(3月半ば)も WHO はパンデミック宣言をし、感染拡大の中心はヨーロッパとなり、アメリカ本土もかなりの移動制限を行うこととなりました。まさに世界的大流行の真ただ中になったと感じます。幸い日本はある程度の封じ込めが成功しており、急激な増加による医療機関の対応の遅れまでには達していません。早くワクチンや治療薬の使用が可能になり、ピークアウトすることを祈るしかありません。

さて、第74回 NPO 法人日本口腔科学会総会・学術集会は、昨年5月に元号が平成から令和に移行し、令和最初の口腔科学会学術集会として、新潟市朱鷺メッセにおいて4月16日(木)、17日(金)の両日で開催することになっていました。東京オリンピックの開催の直前であり会場確保が難しくなることから、3年前に大会長を仰せつかり、教室員一同、科学会会員各位をはじめ歯科のみでなく医科の先生方も含めてご協力いただきながら、口腔科学全体を盛り上げるべく、「口腔科学を活かす」をスローガンにプログラムを考えてきました。特別講演、海外招聘講演、教育講演、プレングレスセミナー、シンポジウム5題、ハンズオンセミナー2題、ランチョンセミナー3題ならびに学術集会への演題登録(口演発表157題、ポスター発表161題、計318題)をいただきました。その他、学会主導として教育研修会、宿題報告、指名報告2題、パネルシンポジウムの各企画をいただきました。「抄録学会」となった今、正式にご講演いただけず本当に残念ですが、関係各位には心より御礼申し上げます。ただし、折角の機会ですので一般演題を登録いただいた皆様の中で、希望者には抄録のみでなくポスター形式でのインターネット公開としてデータを出していただき、COVID-19肺炎の暗い流れを吹き飛ばし、元気を出していただくために“Web 学会賞”を特設しております。会員各位におかれましては感染症拡大に伴い、各病院での対応にも大変な時期とは存じますが、おそらく二度とない(ように祈るばかりです)学会形式ですので、奮っての御参加をお待ちしております。

最後になりますが、ご協力いただいております関係各位の益々のご健勝、ご活躍を祈念しております。  
(令和2年3月17日記)

# INDEX

---

ご挨拶	1
日本口腔科学会担当大学	4
日本口腔科学会役員名簿	6
お知らせとお願い	8
交通のご案内・会場アクセス	12
会場のご案内	13
日 程 表	15
座長・コーディネーター表	20
プログラム	
理事長講演	21
海外招待講演	21
プレコンGRESセミナー	21
特別講演	21
教育講演	22
宿題報告	22
指名報告	22
学会賞受賞講演	23
シンポジウム	23
ポスターシンポジウム	26
教育研修会	26
サテライトセミナー	27
ランチョンセミナー	28

---

## 一般演題 プログラム

4月16日(日) .....	29
4月17日(金) .....	34

## ポスター プログラム

4月16日(日) .....	42
----------------	----

## 講演抄録

理事長講演 .....	58
海外招待講演 .....	60
プレコンGRESセミナー .....	62
特別講演 .....	64
教育講演 .....	66
宿題報告 .....	67
指名報告 .....	68
学会賞受賞講演 .....	70
シンポジウム .....	74
ポスターシンポジウム .....	98
教育研修会 .....	104
サテライトセミナー .....	108
ランチョンセミナー .....	114

## 一般演題抄録

口 演 .....	120
ポスター .....	212

索引 .....	296
----------	-----

協賛一覧 .....	300
------------	-----

# 日本口腔科学会担当大学

	回	年 度	担当校	会長
○	第1回	昭和22年度	大阪大学	弓倉 繁家
	第2回	昭和23年度	東京大学	金森 虎男
	第3回	昭和24年度	京都大学	美濃口 玄
	第4回	昭和25年度	九州大学	加来 素六
○	第5回	昭和26年度	東京大学	金森 虎男
	第6回	昭和27年度	岡山大学	今川 與曹
	第7回	昭和28年度	千葉大学	佐藤 伊吉
	第8回	昭和29年度	九州大学	加来 素六
○	第9回	昭和30年度	京都大学	美濃口 玄
	第10回	昭和31年度	名古屋大学	北村 一郎
	第11回	昭和32年度	東京女子医科大学	村瀬 正雄
	第12回	昭和33年度	鹿児島大学	副島 侃二
○	第13回	昭和34年度	東京大学	河野 庸雄
	第14回	昭和35年度	東北大学	前田 栄一
	第15回	昭和36年度	岐阜医科大学	茂田 貫一
	第16回	昭和37年度	九州大学	藤野 博
○	第17回	昭和38年度	大阪大学	永井 巖
	第18回	昭和39年度	東京医科歯科大学	上野 正
	第19回	昭和40年度	三重県立大学	田島 時博
	第20回	昭和41年度	岡山大学	渡辺 義雄
○	第21回	昭和42年度	愛知学院大学	高木 芳雄
	第22回	昭和43年度	徳島大学	筒井 英夫
	第23回	昭和44年度	東京医科大学	内田 安信
	第24回	昭和45年度	山口大学	山内 寿夫
○	第25回	昭和46年度	東京大学	林 一
	第26回	昭和47年度	千葉大学	堀越 達郎
	第27回	昭和48年度	北海道大学	岡田 泰紀
	第28回	昭和49年度	久留米大学	朱雀 直道
○	第29回	昭和50年度	京都大学	小野 尊睦
	第30回	昭和51年度	帝京大学	林 一
	第31回	昭和52年度	大阪大学	宮崎 正
	第32回	昭和53年度	横浜市立大学	大谷 隆俊
○	第33回	昭和54年度	東京大学	山下 一郎
	第34回	昭和55年度	岡山大学	西嶋 克巳
	第35回	昭和56年度	東京医科歯科大学	塩田 重利
	第36回	昭和57年度	名古屋大学	岡 達
○	第37回	昭和58年度	大阪大学	作田 正義
	第38回	昭和59年度	東京女子医科大学	河西 一秀

回	年度	担当校	会長
第39回	昭和60年度	東北大学	林 進武
第40回	昭和61年度	九州大学	田代 英雄
○ 第41回	昭和62年度	慶応義塾大学	野本 種邦
第42回	昭和63年度	東日本学園大学	富田 喜内
第43回	平成1年度	長崎大学	佐々木元賢
第44回	平成2年度	鳥取大学	浜田 驍
○ 第45回	平成3年度	京都大学	飯塚 忠彦
第46回	平成4年度	名古屋大学	金田 敏郎
第47回	平成5年度	弘前大学	鈴木 貢
第48回	平成6年度	大分医科大学	清水 正嗣
○ 第49回	平成7年度	岐阜大学	岡 伸光
第50回	平成8年度	鹿児島大学	山下 佐英
第51回	平成9年度	新潟大学	大橋 靖
第52回	平成10年度	愛媛大学	谷岡 博昭
○ 第53回	平成11年度	東京大学	高戸 毅
第54回	平成12年度	昭和大学	道 健一
第55回	平成13年度	岩手医科大学	関山 三郎
第56回	平成14年度	大阪大学	松矢 篤三
○ 第57回	平成15年度	九州大学	大石 正道
第58回	平成16年度	鶴見大学	石橋 克禮
第59回	平成17年度	徳島大学	佐藤 光信
第60回	平成18年度	愛知学院大学	亀山洋一郎
○ 第61回	平成19年度	兵庫医科大学	浦出 雅裕
第62回	平成20年度	九州大学	白砂 兼光
第63回	平成21年度	浜松医科大学	橋本 賢二
第64回	平成22年度	北海道大学	戸塚 靖則
○ 第65回	平成23年度	東京医科歯科大学	天笠 光雄
第66回	平成24年度	広島大学	岡本 哲治
第67回	平成25年度	獨協医科大学	今井 裕
第68回	平成26年度	日本大学	小宮山一雄
○ 第69回	平成27年度	大阪歯科大学	森田 章介
第70回	平成28年度	福岡大学	喜久田利弘
第71回	平成29年度	愛媛大学	浜川 裕之
第72回	平成30年度	愛知学院大学	有地榮一郎
○ 第73回	平成31年度	明海大学	嶋田 淳
第74回	令和1年度	新潟大学	高木 律男
第75回	令和2年度	大阪大学	阪井 丘芳

(○：日本医学会総会)

# 日本口腔科学会役員名簿

(2020年2月現在)

## 理事長

丹沢 秀樹

## 副理事長

池邊 哲郎 嶋田 淳 藤田 茂之

## 理事

浅海 淳一	有地榮一郎	安藤 智博	飯野 光喜	鶴澤 成一	岡本 哲治	片岡 竜太
上條竜太郎	北川 善政	栗田 浩	古郷 幹彦	阪井 丘芳	佐々木啓一	柴原 孝彦
砂田 勝久	高木 律男	槻木 恵一	長塚 仁	中村 誠司	長谷川博雅	林 孝文
武川 寛樹	星 和人	前田 初彦	溝口 到	山本 学	吉岡 泉	

## 監事

近藤 壽郎 羽村 章 依田 哲也

## 幹事

笠松 厚志 坂本 洋右

## 名誉委員

(就任)	(氏名)	(就任)	(氏名)	(就任)	(氏名)
昭和27年	石 泰三		藤岡 幸雄		梶山 稔
昭和28年	都築 正男	平成5年	鈴木 鍾美		野井倉武憲
昭和35年	北村 一郎 (第7回総会長)		下里 常弘		埜口五十雄
	長尾 優		園山 昇	平成14年	工藤 逸郎
昭和35年	中村 平蔵		富田 喜内 (第42回総会長)		赤坂 庸子
昭和36年	河野 庸雄 (第13回総会長)	平成6年	金田 敏郎 (第46回総会長)		北村 中也
昭和41年	佐藤 伊吉 (第7回総会長)		久保田康耶		高久 暹
	正木 正		鈴木 貢 (第47回総会長)		東 義景
昭和44年	今川 与曹 (第6回総会長)		田代 英雄 (第40回総会長)	平成15年	堀 亘孝
	高木 芳雄 (第21回総会長)	平成7年	成田 令博		上田 裕
昭和47年	美濃口 玄 (第3回、第9回総会長)		泉 廣次		榎本 昭二
不明	本永七三郎 (第16回総会長)		加藤 讓治		大目 享
昭和49年	藤野 博 (第16回総会長)	平成8年	山下 一郎 (第33回総会長)		香月 武
	村瀬 正雄 (第11回総会長)		内田 安信 (第23回総会長)		金澤 正昭
昭和52年	西嶋庄次郎		岡 伸光 (第49回総会長)		小浜 源郁
昭和54年	池尻 茂		清水 正嗣 (第48回総会長)		清川 寛典
	上野 正 (第18回総会長)		高井 宏		佐々木次郎
	宇賀 春雄		高田 和彰		篠崎 文彦
	川勝 賢作		西村 恒一		白数 力也
	永井 巖 (第17回総会長)		浜田 曉 (第44回総会長)		新藤 潤一
	中村 保夫		森 昌彦		杉村 正仁
	堀越 達郎 (第26回総会長)		山城 正宏		日比 五郎
昭和55年	榎野可代二	平成10年	吉岡 濟		福田 博
	渡辺 義男 (第20回総会長)		石川富士郎		藤林 孝司
昭和56年	伊藤 秀夫		大橋 靖 (第51回総会長)		松村 智弘
昭和57年	大谷 隆俊 (第32回総会長)		内海 順夫		松本 章
昭和58年	山内 寿夫 (第24回総会長)		川島 康		松矢 篤三 (第56回総会長)
昭和59年	筒井 英夫 (第22回総会長)		西連寺永康		道 健一 (第54回総会長)
昭和60年	岡 達 (第36回総会長)		佐藤 研一		茂木 克俊
昭和61年	河西 一秀 (第38回総会長)		小谷 朗	平成16年	飯塚 忠彦 (第45回総会長)
	宮崎 正 (第31回総会長)		岡野 博郎		伊藤 学而
	岡田 泰紀 (第27回総会長)		島田 桂吉		神田 重信
	新国 俊彦		田縁 昭		北 進一
	林 進武 (第39回総会長)		富岡 徳也		佐藤 温重
平成元年	朱雀 直道 (第28回総会長)		山下 佐英 (第50回総会長)		芝 良祐
	村田 睦男	平成11年	北野 繁雄		関山 三郎 (第55回総会長)
平成2年	高橋庄二郎		藤田 浩		花田 晃治
	佐々木元賢 (第43回総会長)		藤田 訓也		三谷 英夫
平成3年	塩田 重利 (第35回総会長)		千野 武廣		安田 英一
	野本 種邦 (第41回総会長)	平成12年	河合 幹		山本 昭
	松田 登		測端 孟		和田 卓郎
	山本 肇		坂本 忠幸	平成17年	大石 正道 (第57回総会長)
	SAILER, Hermann		谷岡 博昭 (第52回総会長)		大竹 繁雄
平成4年	小野 克巳	平成13年	作田 正義 (第37回総会長)		大西 正俊

(就任)	(氏名)	
	大庭 健	
	鈴木 邦夫	
	野間 弘康	
	三村 保	
	都 温彦	
平成18年	吉澤 信夫	
	池村 邦男	
	井口 次夫	
	尾崎登喜雄	
	岸 幹二	(第59回総会長)
	佐藤 光信	
	戸塚 盛雄	
	南雲 正男	
平成19年	藤田 浄秀	
	内田 稔	
	亀山洋一郎	(第60回総会長)
	川崎 建治	
	田辺 晴康	
	兒野 喜穂	
	古田 勲	
平成20年	吉村 安郎	(第58回総会長)
	石橋 克禮	
	植木 輝一	
	扇内 秀樹	
	片桐 正隆	
	長島駿一郎	
	長山 勝	
	茂木 健司	
平成21年	山本 茂久	
	下野 正基	
	瀬戸 皖一	
平成22年	木下 鞠彦	
	竹内 宏	
	千葉 博茂	
	橋本 賢二	(第63回総会長)
	水野 明夫	

(就任)	(氏名)	
	山岡 稔	
	吉田 廣	
平成23年	天笠 光雄	(第65回総会長)
	賀来 亨	
	亀田 晃	
	島原 政司	
	下岡 正八	
	白砂 兼光	(第62回総会長)
	林 良夫	
	藤下 昌巳	
	山田 史郎	
	山根 源之	
平成24年	山本 悦秀	
	鹿島 勇	
	戸塚 靖則	(第64回総会長)
	福島 和昭	
	福田 仁一	
平成25年	朝波惣一郎	
	内山 健志	
	浦出 雅裕	(第61回総会長)
	齊藤 力	
	白川 正順	
	砂川 元	
	田川 俊郎	
	土川 幸三	
平成26年	横井 基夫	(第67回総会長)
	今井 裕	
	岡野 友宏	
	小村 健	
	小谷順一郎	
	篠原 正徳	
	杉原 一正	
	谷口 邦久	
	山本 浩嗣	
平成27年	有末 眞	
	高橋 和裕	

(就任)	(氏名)	
	木村 博人	
	田中 貴信	
	式守 道夫	
	諏訪 文彦	
	小宮山一雄	(第68回総会長)
平成28年	大関 悟平	
	覚道 健治	
	樋口 勝規	
	古澤 清文	
	松田 光悦	
	水城 春美	
	由良 義明	
平成29年	領家 和男	
	城 茂治	
	杉山 芳樹	
	笹野 高嗣	
	後藤 昌昭	
	浜川 裕之	
	上山 吉哉	
	柴田 考典	
	下郷 和雄	
	水谷 英樹	
	中原 泉	
	又賀 泉	
	佐藤 泰則	(第53回総会長)
	高戸 毅	
	勝海 一郎	
平成30年	大浦 清	
	大木 秀郎	
	喜久田利弘	(第70回総会長)
	小室 歳信	
	高井 良招	
	田中 昭男	
	藤内 祝	
	平塚 博義	
	森田 章介	(第69回総会長)

評 議 員

浅海 淳一	朝比奈 泉	東 雅之	東 みゆき	鮎瀬 卓郎	新井 直也	新崎 章
有地 榮一郎	安藤 智博	飯田 征二	飯野 光喜	伊賀 弘起	池邊 哲郎	石丸 直澄
一條 秀憲	市ノ川義美	今村 佳樹	上木耕一郎	植野 高章	鶴澤 成一	梅田 正博
大野 敬	大矢 亮一	岡田 康男	岡本 哲治	奥村 泰彦	各務 秀明	柿本 直也
葛西 一貴	風岡 宜暁	片岡 竜太	片倉 朗	勝又 明敏	加藤 文度	金村 成智
金子 忠良	金子 明寛	金田 隆	樺沢 勇司	上條竜太郎	川上 敏行	川尻 秀一
河野 憲司	川又 均	菅野 貴浩	岸本 裕充	北井 則行	北川 善政	北野 尚孝
桐田 忠昭	草間 幹夫	草間 薫	楠川 仁悟	倉林 亨	栗田 浩	栗田 賢一
玄 景華	興地 隆史	古郷 幹彦	小谷 誠二	小林 馨	小林 正治	小林 恒
小宮 正道	古森 孝英	近藤 壽郎	佐々木啓一	西條 英人	斎藤 一郎	阪井 丘芳
坂下 英明	酒卷 裕之	佐々木 朗	柴原 孝彦	佐藤 健一	里見 貴史	里村 一人
佐野 和生	篠原 光代	柴田 敏之	柴原 孝彦	渋谷 恭之	澁谷 徹	嶋田 淳
清水谷公成	志茂 剛	下山 哲夫	代田 達夫	進藤 正信	杉浦 剛	杉山 勝
砂田 勝久	住友伸一郎	関谷 秀樹	仙波伊知郎	高木 律男	高田 訓	高田 隆
高橋 哲	高橋 浩二	竹川 政範	武知 正晃	武部 純	竹村 明道	田中 彰
田中 昌博	田沼 順一	田村 功	丹沢 秀樹	近津 大地	津賀 一弘	槻木 恵一
鄭 漢忠	戸苅 彰史	外木 守雄	富永 和宏	豊澤 悟	長尾 徹	中川 種昭
中嶋 正博	長塚 仁	永原 國央	中村 誠司	中村 典史	永易 裕樹	中山 英二
中山 秀樹	二川 浩樹	野口 誠	野村 武史	長谷川博雅	長谷川 博	畑 毅
服部 正巳	濱田 傑	濱田 良樹	羽村 章	林 孝文	林 勝彦	原田 浩之
久山 佳代	樋田 京子	日比 英晴	平木 昭光	深山 治久	武川 寛樹	福田 雅幸
藤田 茂之	別所 和久	星 和人	本田 和也	本田 雅規	宮崎 初彦	前田 伸子
馬嶋 秀行	丸岡 靖史	三島 克章	溝口 泰宏	本宅 実	前崎 隆	宮本 洋二
村松 泰徳	森 悦秀	森 良之	森本 哲也	森山 啓司	矢島 安朝	山下 佳雄
山下 善弘	山田 浩之	山本 学	山本 哲也	湯浅 賢治	横江 秀隆	横尾 聡
横山 敦郎	吉浦 一紀	吉岡 泉	芳澤 享子	吉田 篤	依田 哲也	米原 啓之
李 昌一						

# お知らせとお願い

当初、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて開催予定であった内容のまま作成しています。インターネット学術集会については、第74回学術集会のホームページよりご確認をお願いいたします。

## I. 学術集会参加の皆様へ

参加受付：2F ホワイエ 4月16日(木) 8:00～18:00  
4月17日(金) 8:15～15:00

### 〈事前参加登録の方〉

事前に参加証、プログラム・抄録集を送付いたします。

当日はお忘れなくご持参いただき、会場内では参加証をご着用ください。当日参加受付にお越しいただく必要はございません。

### 〈当日参加登録の方〉

参加費：一般 15,000円

外国人留学生・医歯学部学生<sup>※1、※2</sup>・メディカルスタッフ 5,000円<sup>※2</sup>

※1 歯学部・歯科大学および医学部・医科大学に在学中の学部学生、歯科衛生士専門学校・看護師養成学校に在学中の学生で、大学院生は含みません。

※2 証明書コピーまたは施設長の証明書をご提示ください。  
(証明書がなければ一般料金15,000円を申し受けます。)

教育研修会：3,000円(事前登録制です。空席がある場合は、当日先着順で申し込みを受付いたします。)

超音波研修会(Hands-on)：5,000円(事前登録制です。空席がある場合は、当日先着順で申し込みを受付いたします。)

参加証：会場内では必ずご記名の上、着用してください。未着用の方の入場はお断りいたします。

プログラム・抄録集：参加費受領後、参加証と一緒に1部お渡しいたします。

追加でご入用の場合は、「総合案内」にて5,000円でご購入いただけます。

## II. 会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

住所：〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

総合受付：2F ホワイエ  
PC受付：2F ホワイエ  
クローク：1F エントランスホール  
企業展示・書籍展示：1F 展示ホールB  
A会場：2F スノーホール  
B会場：4F マリンホール  
C会場：3F 中会議室301  
D会場：3F 中会議室302  
E会場：2F 中会議室201  
ポスター会場：1F 展示ホールB

※お手持ちのスマートフォン、タブレットにて、第74回NPO法人日本口腔科学会学術集会ホームページ(<https://admedic.co.jp/jss74/>)より抄録集(PDF)をダウンロードすることで、スマートフォン、タブレットで抄録集をご覧いただけます。

### Ⅲ. 会員懇親会

日 時：4月15日(水) 18:00～20:00

会 場：4F マリンホール

当日会費：3,000円

### Ⅳ. 発表者の皆様へ

#### —重要なお知らせ—

事後抄録の登録を下記期間内に本学会のホームページからお願いいたします。  
期間内に抄録の登録がない場合には、登録時の抄録を使用いたしますので予めご了承ください。

登録期間：4月13日(月)～5月29日(金)

#### 1. 発表者の資格

- 1) 発表者、共同演者とも日本口腔科学会会員に限ります。非会員の方は、事前に入会手続きをお済ませください。

連絡先：〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11  
一ツ橋印刷株式会社 学会事務センター内  
NPO 法人日本口腔科学会事務局  
TEL：03-5620-1953 FAX：03-5620-1960

- 2) 入会金ならびに年会費の送金先は次のとおりです。

銀行振込：三井住友銀行深川支店(普)3748923  
特定非営利活動法人 日本口腔科学会

郵便振替：00180-9-630158  
特定非営利活動法人 日本口腔科学会

#### 2. 口演発表される方へ

- 1) 次演者、次々演者の方は、所定の席(次演者席)でお待ちください。
- 2) 一般口演の発表時間は6分、質疑応答は3分です。演者は時間を厳守し、座長の指示に従ってください。発表日時はプログラムでご確認ください。

#### 3) 会場で使用する PC の仕様

- (1) OS：Windows10
- (2) ソフト：Microsoft Power Point 2010/2013/2016を準備しております。
- (3) 発表者ツールの使用は禁止とさせていただきます。

#### 4) 発表データ

- スライド2枚目に必ず COI について表示してください。
- 単写、CD-R または USB メモリー持ち込みによる発表といたします。USB メモリーに保存したデータが、他の PC でも読み込めることを事前にご確認ください。特別な場合以外、ご自身でお持込の PC はご利用できませんのでご注意ください。スライドの枚数制限はありませんが、時間厳守でお願いします。
- Mac ユーザーの方は念のためご自身のノート PC と D-sub15 ピンケーブルと接続できる形状に変換するコネクタをご持参ください。また、当日 PC センターでの混乱を避けるため、あらかじめ Windows で修正ならびに確認をお願いいたします。
- 動画データをご使用の場合も念のためご自身のノート PC をご持参ください。

- ノート PC をお持込の場合、AC アダプターを必ずご用意ください。会場でご用意する映像ケーブルは D-sub15 ピンケーブルです。映像出力端子が特殊な形状の場合は D-sub15 ピンケーブルと接続できる形状に変換するコネクタをご自身でご用意ください。また、スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードはあらかじめ解除しておいてください。発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。
- フォントは文字化けを防ぐため、次に記す Microsoft 社の標準フォントをご使用ください。  
【日本語】MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
【英語】Times、Times New Roman、Arial
- 発表データのファイル名は「演題番号(半角)、発表者氏名(フルネーム).ppt(.pptx)」としてください。お預かりした発表データは、学会終了時に事務局で責任をもって消去させていただきます。

### 5) PC 受付

発表の30分前までに PC 受付(2F ホワイエ)にて受付をお済ませください。  
受付後、発表の15分前までに口演会場内の次演者席にて待機してください。

### 3. ポスター発表される方へ

1) ポスター発表はパネルに演題番号を掲示してありますので、ご自身の番号をご確認の上、指定のパネルに貼付してください。

#### 2) ポスター貼付

貼付時間：4月16日(木) 9:00～11:00

討論時間：4月16日(木) 16:00～16:35

17日(金) 14:20～15:05

撤去時間：4月17日(金) 15:40～16:10

ポスターは2日間の掲示をお願いします。

撤去時間終了後も掲示されているポスターは事務局で処分しますのでご了承ください。

3) 幅70×20cmの上部スペースに演者の演題名、所属、発表者(演者に○)を、幅90×160cmのスペースに本文等を掲示してください。

演題番号は事務局にて準備します。

なお、ポスター発表者は配布資料(A3判ないしA4判に縮小したポスターあるいは発表内容をまとめたもの)30部を必ずご用意ください。

4) 要旨口頭発表は3分、質疑応答は2分です。

#### 5) ポスター賞・若手優秀ポスター賞

本学術集会では学会賞選考対象に応募されたポスター発表の中より、優れた発表に対しポスター賞・若手優秀ポスター賞が授与されます。

4月17日(金)に発表(受賞ポスターにリボンを貼付するとともに、総合受付に受賞者名を掲示)します。

授賞式は、15:50からA会場にて行いますので、受賞者は会場にご集合ください。



#### 4. 座長の先生へ

- 1) ポスターセッション以外の座長の先生は、ご担当予定時刻の15分前までに所定の会場にお越しください。所定の時間内に収まるようお願い申し上げます。
- 2) ポスターセッションの座長の先生は、ご担当予定時刻の15分前までにポスター会場の座長受付にて受付をお済ませください。

※タイマー、指示棒はセッション前にお渡しいたします。所定の時間内に収まるようお願い申し上げます。

#### V. 理事会、評議員会、総会(こちらのみ4月15日に実際に開催した内容です)

- 1) 被選理事会 4月15日(水) 13:30～14:00 2F 小会議室202
- 2) 理 事 会 4月15日(水) 14:00～15:00 2F 小会議室202
- 3) 評 議 員 会 4月15日(水) 15:00～17:00 2F 小会議室202

#### VI. 教育研修会(ランチョン形式)

日本口腔科学会員を対象とした教育研修会を開催いたします。

日 時：4月16日(木) 12:20～14:20

会 場：A 会場(2F スノーホール)

主 題：「バイオフィルムの基礎から臨床まで」

受講料：3,000円(弁当代を含む)

参加申し込み：事前参加登録制ですが、空席がある場合は、当日、先着順で申し込みを受け付けます。お弁当をご用意しておりますが、当日参加申込が多数の際にはお渡しできない場合がございますので、あらかじめご容赦ください。

※本教育研修会の参加者には、日本口腔外科学会専門医等の申請要件、資格更新に必要な単位として5単位が付与されます。受講修了証書は全ての講演を受講された方に対して、研修会終了後に交付いたします。

#### VII. ランチョンセミナー

お弁当整理券を、開催当日に総合受付(2F ホワイエ)付近にて先着順で配布いたします。

配布時間：4月17日(金) 8:15～11:30

※お弁当は数に限りがございますので、なくなり次第配布終了といたします。

#### VIII. 企業展示・書籍展示

日 時：4月16日(木) 9:00～17:00

4月17日(金) 9:00～15:00

会 場：1F 展示ホールB

#### IX. クローク

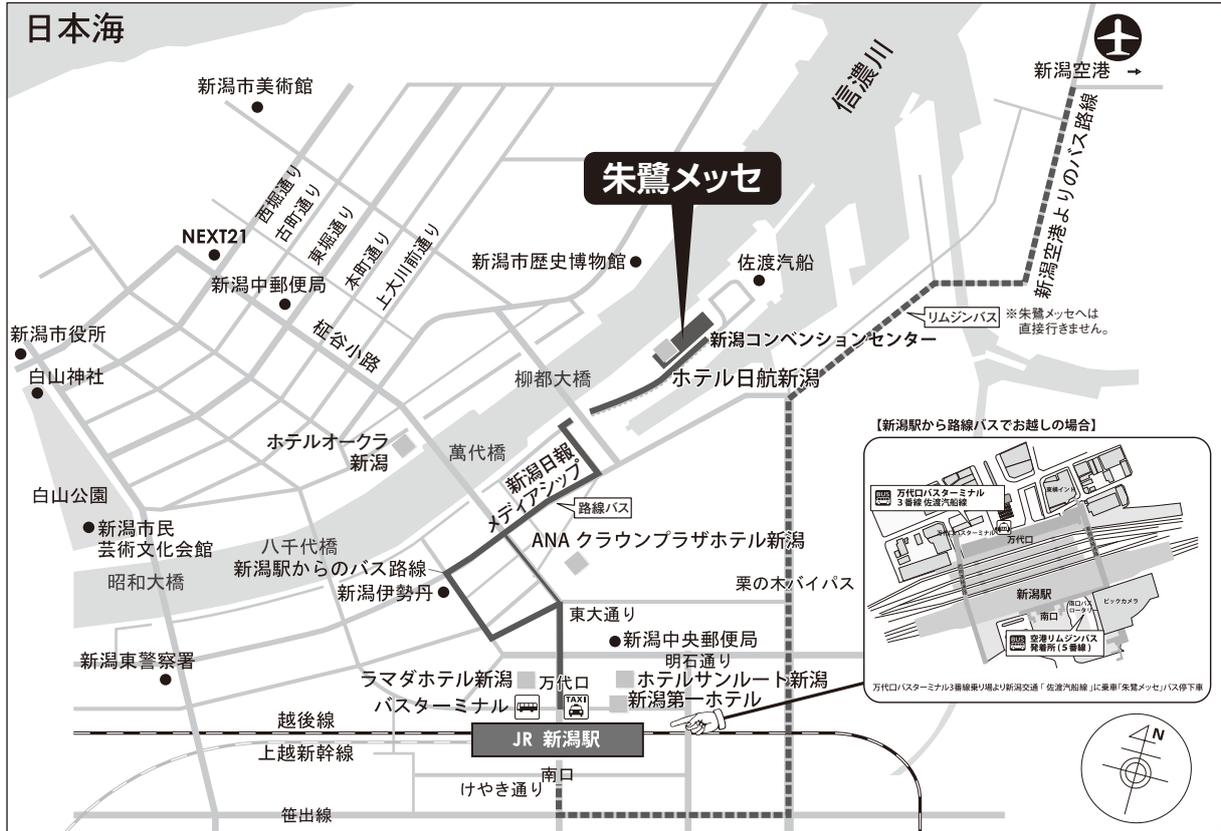
日 時：4月16日(木) 8:00～18:30

4月17日(金) 8:15～15:00

※サテライトセミナーへご参加される方は、セミナー開始前にお荷物をお引き取りください。

会 場：1F エントランスホール

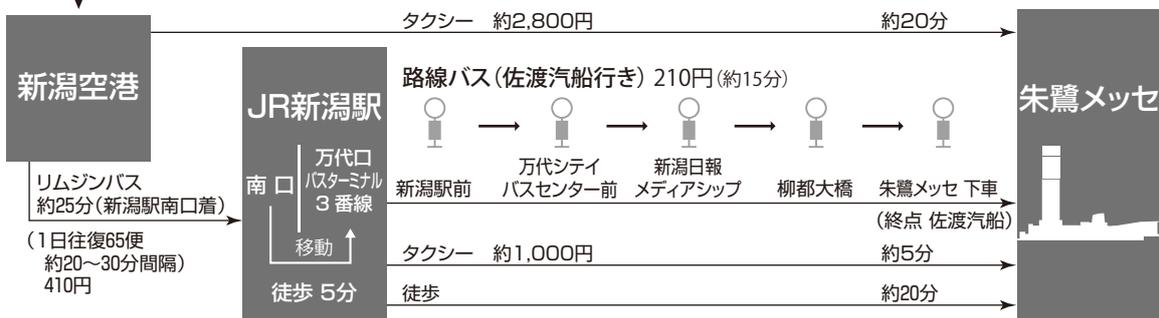
# 交通のご案内・会場アクセス



## ■アクセス(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)

飛行機を利用する	札幌	新千歳空港	約1時間15分	新潟空港
	成田	成田空港	約1時間10分	
	大阪	大阪国際空港(伊丹空港)	約1時間	
	名古屋(中部国際)	中部国際空港	約1時間	
	名古屋(小牧)	県営名古屋空港	約1時間	
	福岡	福岡空港	約1時間40分	
	沖縄	那覇空港	約3時間	

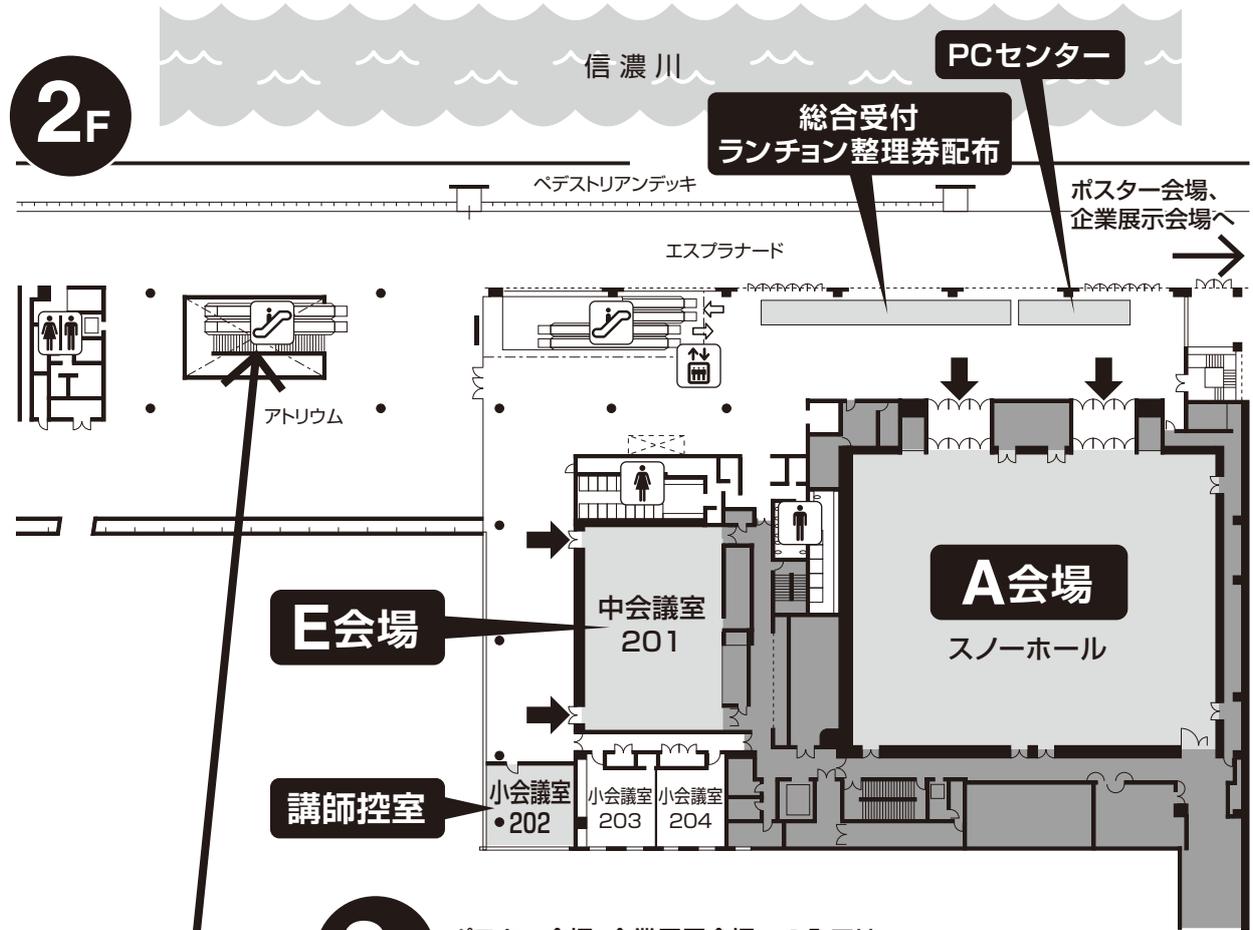
●各航空会社へお問い合わせください。http://www.n-airport.co.jp/flight/



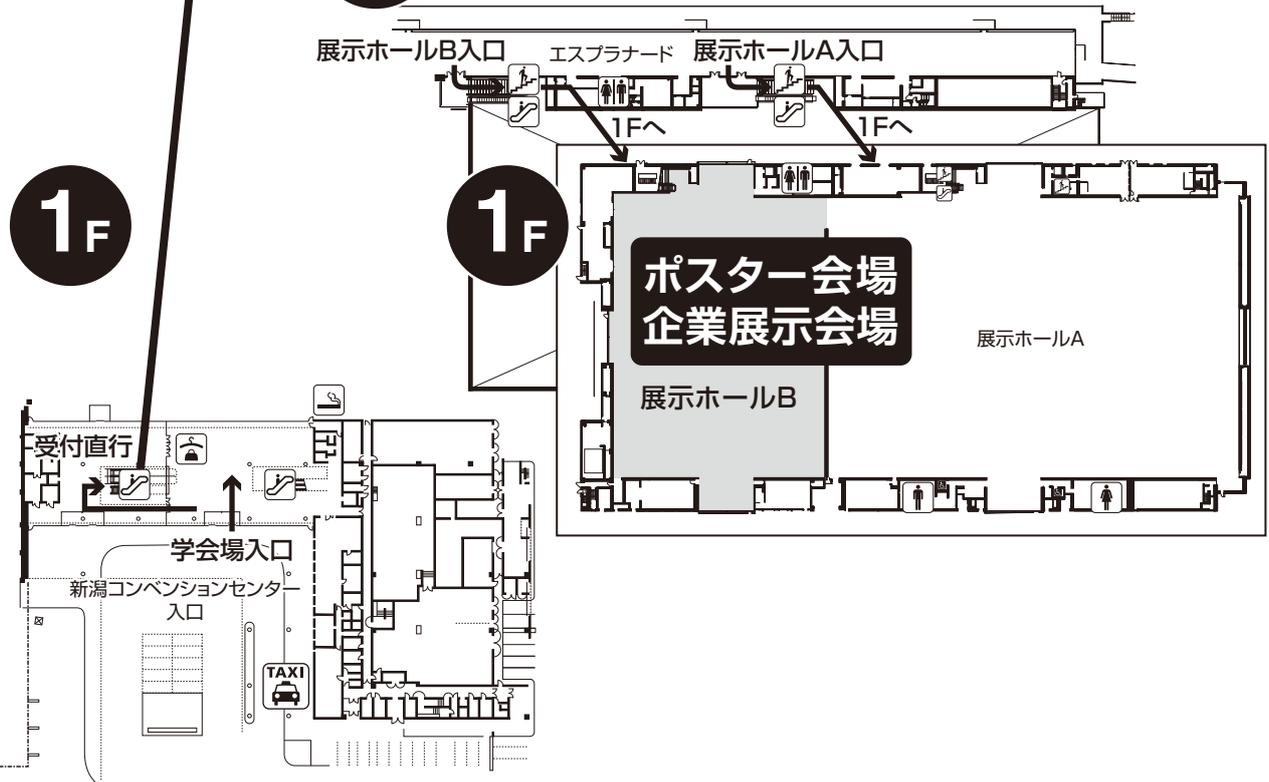
鉄道を利用する	秋田	特急いなほ	約4時間	JR新潟駅	
	仙台	東北新幹線	JR大宮駅 上越新幹線		約3時間50分
	東京	上越新幹線	約2時間		
	金沢	北陸新幹線	上越妙高駅 特急しらゆき		約3時間10分
	名古屋	東海道新幹線	JR東京駅 上越新幹線		約3時間30分
大阪	東海道新幹線	JR東京駅 上越新幹線	約5時間		

●http://www.jrniigata.co.jp/

# 会場のご案内

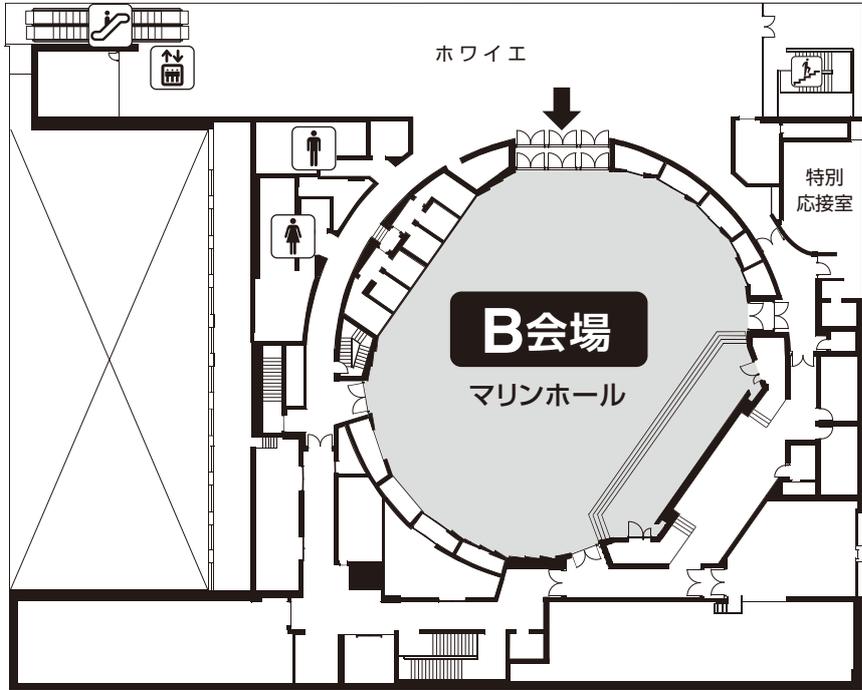


**2F** ポスター会場、企業展示会場への入口は  
2Fエスプラナードよりお進みください。

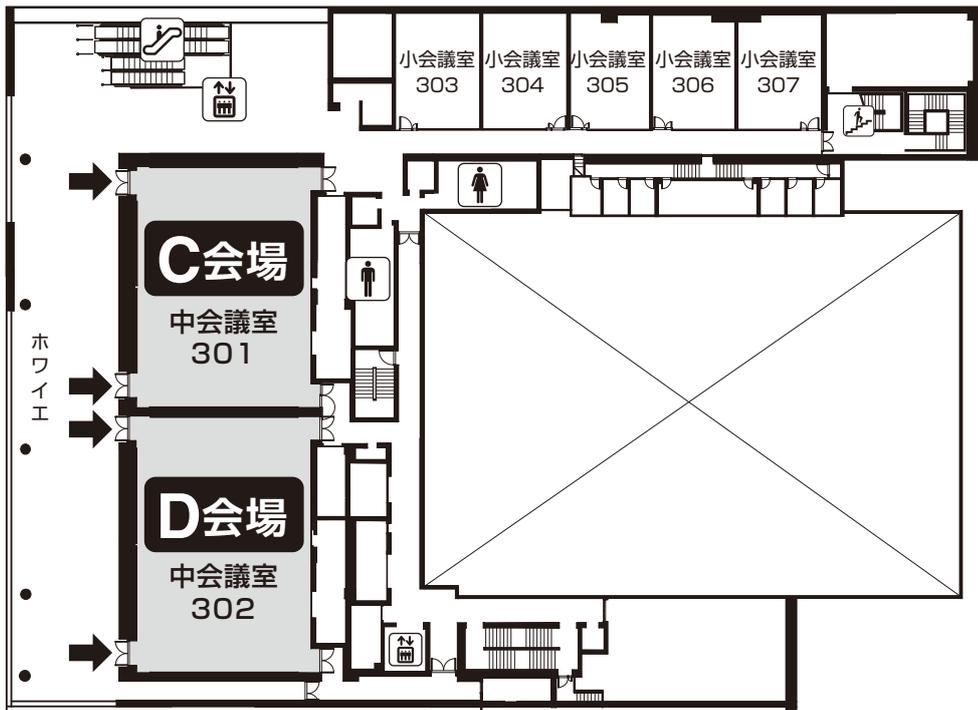




4F



3F



# 日 程 表

2020年4月15日(水)

※4月15日のみ実際に開催した  
内容としています

2F 小会議室202	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
13:30~14:00	被選理事会
14:00~15:00	理 事 会
15:00~17:00	評 議 員 会
17:00	
18:00	
19:00	

2020年4月16日(木)

	A 会場 2F スノーホール	B 会場 4F マリンホール	C 会場 3F 中会議室301
9:00	8:50~9:00 <b>開 会 式</b> 9:00~10:20 <b>シンポジウム 1</b> 再生医療を先導する口腔科学 コーディネーター：星 和人・永田 昌毅 演者：星 和人・高橋 克 美島 健二・永田 昌毅	9:00~10:20 <b>シンポジウム 2</b> 歯科に求められる摂食嚥下の基礎・臨床研究 コーディネーター：井上 誠 演者：渡邊 裕・堀 一浩 井上 誠	
10:00			
11:00	10:30~11:30 <b>特別講演</b> Our expectation to Japan's Experience - Role of Oral Health for Ageing and NCDs 座長：丹沢 秀樹 演者：葛西 健		
12:00	11:35~12:15 <b>教育講演</b> 新潟清酒の変遷と日本酒学 座長：高木 律男 演者：金桶 光起		12:00~13:00 <b>合同編集査読委員会</b>
13:00	12:20~14:20 <b>教育研修会</b> (ランチョン形式) バイオフィルムの基礎から臨床まで 座長：中村 誠司・阪井 丘芳 演者：野杵 由一郎 立石 善隆 野村 暢彦		
14:00			
15:00	14:25~15:25 <b>海外招待講演</b> What is expected of stomatology in Europe? A delicate question as to whether oral & maxillofacial surgery should take over stomatology 座長：高木 律男 演者：飯塚 健行		
16:00	15:30~16:20 <b>宿題報告</b> 免疫担当T細胞からの口腔疾患の病態解明と治療法開発のアプローチ 座長：石丸 直澄 演者：中村 誠司	15:30~16:10 <b>基礎的研究</b> 感染症/炎症・免疫性疾患/粘膜疾患 1-B1-1~1-B1-4	15:30~16:10 <b>基礎的研究</b> 悪性腫瘍 1 1-C1-1~1-C1-4
17:00	16:20~17:10 <b>指名報告 1</b> 知覚神経の活性化は癌細胞の骨での増大と転移を促進する 座長：梅田 正博 演者：奥井 達雄	16:10~17:00 <b>臨床的研究</b> 薬剤関連顎骨壊死 1 1-B2-1~1-B2-5	16:10~16:50 <b>基礎的研究</b> 悪性腫瘍 2 1-C2-1~1-C2-4
18:00	17:10~18:00 <b>指名報告 2</b> 光機能化チタンインプラントによる顎骨・咬合再建 —基礎研究から臨床応用まで— 座長：別所 和久 演者：廣田 誠	17:00~17:40 <b>症例報告</b> 炎症・免疫性疾患 / 粘膜疾患 1-B3-1~1-B3-5	16:50~17:40 <b>臨床的研究</b> 悪性腫瘍 1 1-C3-1~1-C3-5
19:00	18:30~20:30 <b>サテライトセミナー 1</b> 国際歯科医療安全機構・学術集会	18:30~20:30 <b>サテライトセミナー 2</b> 第23回顎顔面手術手技研究会 根治的頸部郭清術変法	18:30~20:30 <b>サテライトセミナー 3</b> 第24回口蓋裂公開勉強会 口唇二次修正術 —私の工夫—
20:00			

※抄録集における座長の記載につきましては、各座長依頼の最終確認を行う前に、  
 学術集会の Web 開催が決定しましたので省略させていただきます。

D 会場 3F 中会議室302	E 会場 2F 中会議室201	展示会場 1F 展示ホールB		ポスター会場 1F 展示ホールB	認定医面接試験 3F 小会議室303-304 小会議室306-307
				9:00 } 11:00 ポスター貼付	
				11:00 } 16:30 ポスター展示	
12:30~13:30 多施設共同研究 全体会議					
					15:00 ~17:00 NPO 法人 日本口腔科学会 認定医 面接試験
15:30~16:20 臨床的研究 心身医学/全身管理学/ 歯周疾患 1-D1-1~1-D1-5	15:30~16:20 基礎的研究 先天異常/その他 1-E1-1~1-E1-5	15:30~17:30 超音波研修会 ハンズオン	15:30~17:30 手術用顕微鏡 ハンズオン 講師：曾東 洋平 協賛： 株式会社ベアーム ディック、 三鷹光器株式会社、 メディカル U&A	16:30~17:00 ポスター討論1 P1~P59	
16:20~17:10 臨床的研究 良性腫瘍/嚢胞/その他 1-D2-1~1-D2-5	16:20~17:10 臨床的研究 先天異常/発育異常/ 顎関節 1-E2-1~1-E2-5	頸部リンパ節 と舌の超音波 検査 協賛： NPO 法人 日本歯 科放射線学会		17:00~17:30 ポスター討論2 P60~P116	
17:10~17:50 症例報告 嚢胞 1-D3-1~1-D3-5	17:10~18:00 臨床的研究 医療連携 1-E3-1~1-E3-5			17:30~18:00 ポスター討論3 P117~P159	
18:30~20:30 サテライトセミナー 4 第 14 回口腔顎顔面核医学 フォーラム学術集会	18:30~20:30 サテライトセミナー 5 第 2 回一般社団法人全国 医学部附属病院科長会議 理事会・社員総会 第 49 回定例会				

2020年4月17日(金)

	A 会場 2F スノーホール	B 会場 4F マリンホール	C 会場 3F 中会議室301
8:00			
9:00	8:45~10:05 <b>シンポジウム 3</b> 各地におけるコホート研究の取り組み —口腔と全身との関連— コーディネーター：安藤 雄一・栗田 浩 演者：安藤 雄一・福原 紫津子 小林 恒・櫻井 精斉 石川 恵生	8:45~10:05 <b>シンポジウム 4</b> 肉芽組織の臨床 —特に歯内療法・ インプラント処置に対する対応— コーディネーター：田沼 順一・岡田 康男 演者：下野 正基・吉岡 隆知 三上 格	
10:00	10:10~11:30 <b>シンポジウム 5</b> 歯科人工知能 (AI) の可能性 コーディネーター：林 孝文・勝又 明敏 演者：有地 淑子・野崎 一徳 原 武史	10:10~12:10 日本口腔科学会 日本保健医療福祉連携教育学会 日本歯科医学教育学会 共催シンポジウム <b>ポスターシンポジウム</b> 地域包括ケアに貢献できる 歯科医師の養成 座長：片岡 竜太 演者：小原 真知子・杉山 みち子 窪木 拓男・岸本 裕充 今井 美季子	9:30~10:18 <b>症例報告</b> 血液疾患 / 全身管理学 2-C1-1~2-C1-6
11:00	11:35~12:05 <b>学会賞受賞講演</b> 演者：坂上 泰士・新行内 恵		10:18~11:08 <b>基礎的研究</b> 再生医学 / 生体材料 / その他 2-C2-1~2-C2-5
12:00			11:08~11:58 <b>臨床的研究</b> 悪性腫瘍 2 / その他 2-C3-1~2-C3-5
13:00			12:10~13:00 <b>ランチョンセミナー 1</b> 医科・歯科領域における 舌圧検査の活用 座長：中島 純子 演者：小野 高裕 共催：株式会社ジェイ・エム・エス
14:00	13:05~14:05 <b>総 会</b>		
15:00	14:10~15:00 <b>臨床的研究</b> 摂食嚥下 2-A1-1~2-A1-5	14:10~15:00 <b>臨床的研究</b> 悪性腫瘍 3 2-B1-1~2-B1-5	14:10~15:00 <b>臨床的研究</b> その他 2-C4-1~2-C4-5
15:00	15:00~15:50 <b>臨床的研究</b> 嚥下 / 咀嚼 / 睡眠時無呼吸 2-A2-1~2-A2-5	15:00~15:40 <b>症例報告</b> 悪性腫瘍 2 2-B2-1~2-B2-5	15:00~15:48 <b>症例報告</b> 唾液腺疾患 / 出血性素因 2-C5-1~2-C5-6
16:00	16:00~16:10 <b>閉 会 式</b>		
17:00			

※抄録集における座長の記載につきましては、各座長依頼の最終確認を行う前に、  
 学術集会の Web 開催が決定しましたので省略させていただきます。

D 会場 3F 中会議室302	E 会場 2F 中会議室201	展示会場 1F 展示ホールB	ポスター会場 1F 展示ホールB	認定医面接試験 3F 小会議室303-304 小会議室306-307
			8:45~9:30	
			ポスター貼付	
9:30~10:12 臨床的研究/症例報告 悪性腫瘍 1 2-D1-1~2-D1-5	10:00~10:40 症例報告 粘膜疾患 / 良性腫瘍 1 2-E1-1~2-E1-5		9:30 ↓ 15:00	10:00~11:00 学会賞選考 委員会 (ポスター賞選定)
10:12~11:02 臨床的研究 薬剤関連顎骨壊死 2 2-D2-1~2-D2-5	10:40~11:20 症例報告 良性腫瘍 2 2-E2-1~2-E2-5		ポ ス タ ー 展 示	
11:02~11:52 臨床的研究 感染症 / 炎症・免疫性 / 粘膜疾患 2-D3-1~2-D3-5	11:20~12:00 症例報告 良性腫瘍 3 2-E3-1~2-E3-5	11:00~13:00 手術用顕微鏡 ハンズオン 講師：曾東 洋平		
12:10~13:00 ランチョンセミナー 2 口腔内から全身につながる 感染症と耐性菌 座長：小川 祐司 演者：齋藤 翔	12:10~13:00 ランチョンセミナー 3 座長：池邊 哲郎 演者：阪井 丘芳・山田 麻未 共催：口腔科学会・OSI	協賛： 株式会社ベアーメディック、 三鷹光器株式会社、 メディカルU&A		
共催：サンスター株式会社	1 若手研究者のための論文投稿のすすめ 2 英文学術ジャーナルの現状と論文投稿のイロハ			
14:10~15:00 臨床的研究 外傷 / 歯科インプラント / 過剰歯 2-D4-1~2-D4-5	14:10~14:58 症例報告 感染症 2-E4-1~2-E4-6			14:00~16:00 NPO 法人 日本口腔科学会 認定医 面接試験
15:00~15:52 臨床的研究 / 症例報告 顎骨造成・再建 / その他 2-D5-1~2-D5-6	14:58~15:46 症例報告 先天異常 / 発育異常 / 顎関節 / 外傷 2-E5-1~2-E5-6		15:00~15:30 ポスター撤去	

# 座長・コーディネーター表

(敬称略)

## 4月15日(木)

会場	セッション時間	セッション	タイトル	座長
D	16:00~17:00	プレコンgres セミナー	顎顔面発生メカニズム研究の最前線 —DNA修復と顎顔面発生—	永田 昌毅 新潟大学
B	17:10~17:50	理事長講演	社会の激変に対応した歯科学・歯科医療を 考える —日本口腔科学会の果たすべき役割と 今後の展開—	高木 律男 新潟大学

## 4月16日(金)

会場	セッション時間	セッション	タイトル	座長・コーディネーター
A	9:00~10:20	シンポジウム1	再生医療を先導する口腔科学	星 和人 東京大学 永田 昌毅 新潟大学
A	10:30~11:30	特別講演	Our expectation to Japan's Experience - Role of Oral Health for Ageing and NCDs	丹沢 秀樹 千葉大学
A	11:35~12:15	教育講演	新潟清酒の変遷と日本酒学	高木 律男 新潟大学
A	12:20~14:20	教育研修会	バイオフィルムの基礎から臨床まで	中村 誠司 九州大学 阪井 丘芳 大阪大学
A	14:25~15:25	海外招待講演	What is expected of stomatology in Europe? A delicate question as to whether oral & maxillofacial surgery should take over stomatology	高木 律男 新潟大学
A	15:30~16:20	宿題報告	免疫担当T細胞からの口腔疾患の病態解明と 治療法開発のアプローチ	石丸 直澄 徳島大学
A	16:20~17:10	指名報告1	知覚神経の活性化は癌細胞の骨での増大と 転移を促進する	梅田 正博 長崎大学
A	17:10~18:00	指名報告2	光機能化チタンインプラントによる顎骨・ 咬合再建 —基礎研究から臨床応用まで—	別所 和久 京都大学
B	9:00~10:20	シンポジウム2	歯科に求められる摂食嚥下の基礎・臨床研究	井上 誠 新潟大学

## 4月17日(土)

会場	セッション時間	セッション	タイトル	座長・コーディネーター
A	8:45~10:05	シンポジウム3	各地におけるコホート研究の取り組み —口腔と全身との関連—	安藤 雄一 国立保健医療科学院 栗田 浩 信州大学
A	10:10~11:30	シンポジウム5	歯科人工知能(AI)の可能性	林 孝文 新潟大学 勝又 明敏 朝日大学
B	8:45~10:05	シンポジウム4	肉芽組織の臨床 —特に歯内療法・インプラント 処置に対する対応—	田沼 順一 新潟大学 岡田 康男 日本歯科大学
B	10:10~12:10	ポスター シンポジウム	地域包括ケアに貢献できる歯科医師の養成	片岡 竜太 昭和大学
C	12:10~13:00	ランチョン セミナー1	医科・歯科領域における舌圧検査の活用	中島 純子 東京歯科大学
D	12:10~13:00	ランチョン セミナー2	口腔内から全身につながる感染症と耐性菌	小川 祐司 新潟大学
E	12:10~13:00	ランチョン セミナー3	若手研究者のための論文投稿のすすめ 英文学術ジャーナルの現状と論文投稿の イロハ	池邊 哲郎 福岡歯科大学

# プログラム

## 理事長講演

4月15日(日) 17:10～17:50

B会場(4F マリンホール)

座長：高木 律男(新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野)

### 社会の激変に対応した歯科学・歯科医療を考える —日本口腔科学会の果たすべき役割と今後の展開—

丹沢 秀樹 NPO 法人 日本口腔科学会 理事長  
千葉大学大学院医学研究院 口腔科学講座 教授

## 海外招待講演

4月16日(日) 14:25～15:25

A会場(2F スノーホール)

座長：高木 律男(新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野)

### What is expected of stomatology in Europe? A delicate question as to whether oral & maxillofacial surgery should take over stomatology

Tateyuki Iizuka, MD. DDS. PhD. FEBOMFS  
Department of Cranio-Maxillofacial Surgery, Faculty of Medicine, University of Bern

## プレコンgresセミナー

4月15日(日) 16:00～17:00

D会場(3F 中会議室302)

座長：永田 昌毅(新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野)

### 顎顔面発生メカニズム研究の最前線 —DNA 修復と顎顔面発生—

大峽 淳 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 口腔解剖学分野

## 特別講演

4月16日(日) 10:30～11:30

A会場(2F スノーホール)

座長：丹沢 秀樹(NPO 法人 日本口腔科学会/千葉大学大学院医学研究院 先端がん治療学研究講座 口腔科学分野)

### Our expectation to Japan's Experience - Role of Oral Health for Ageing and NCDs

Dr Takeshi Kasai WHO Regional Director for the Western Pacific

## 教育講演

4月16日(日) 11:35～12:15

A会場(2F スノーホール)

座長：高木 律男(新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野)

### 新潟清酒の変遷と日本酒学

金桶 光起 新潟県醸造試験場 場長

## 宿題報告

4月16日(日) 15:30～16:20

A会場(2F スノーホール)

座長：石丸 直澄(徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野)

### 免疫担当 T 細胞からの口腔疾患の病態解明と治療法開発のアプローチ

中村 誠司 九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野

## 指名報告 1

4月16日(日) 16:20～17:10

A会場(2F スノーホール)

座長：梅田 正博(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 口腔腫瘍治療学分野)

### 知覚神経の活性化は癌細胞の骨での増大と転移を促進する

奥井 達雄 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野

## 指名報告 2

4月16日(日) 17:10～18:00

A会場(2F スノーホール)

座長：別所 和久(京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座口腔外科学分野)

### 光機能化チタンインプラントによる顎骨・咬合再建

—基礎研究から臨床応用まで—

廣田 誠 横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科

## 学会賞受賞講演

4月17日(金) 11:35～12:05

A会場(2F スノーホール)

### 1 90歳以上の超高齢口腔がん患者の臨床的検討

坂上 泰士 広島大学病院 顎・口腔外科

### 2 ARONJ 治療における予後因子の解析

新行内 恵 東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座

## シンポジウム1

4月16日(金) 9:00～10:20

A会場(2F スノーホール)

コーディネーター：星 和人(東京大学医学部附属病院 顎口腔顎顔面外科・矯正歯科 ティッシュ・エンジニアリング部)  
永田 昌毅(新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野、新潟大学医歯学総合病院 先進医療開拓部門)

### [ 再生医療を先導する口腔科学 ]

#### SY1-1 再生医療の顎関節症への応用

東京大学医学部附属病院 顎口腔顎顔面外科・矯正歯科  
ティッシュ・エンジニアリング部

星 和人

#### SY1-2 歯数制御による歯の再生治療薬の開発

京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座 口腔外科分野

高橋 克

#### SY1-3 唾液腺再生

昭和大学歯学部 口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門

美島 健二

#### SY1-4 培養自家骨膜細胞による顎骨歯槽骨再生の社会実装と課題

新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野  
新潟大学医歯学総合病院 先進医療開拓部門

永田 昌毅

## シンポジウム2

4月16日(土) 9:00～10:20

B会場(2F マリンホール)

コーディネーター：井上 誠(新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野)

### [ 歯科に求められる摂食嚥下の基礎・臨床研究 ]

#### SY2-1 ヒトを対象とした疫学研究から

北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

渡邊 裕

#### SY2-2 歯科補綴からの摂食嚥下障害へのアプローチ

新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野

堀 一浩

#### SY2-3 基礎研究から見出す摂食嚥下障害への臨床ヒント

新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

井上 誠

## シンポジウム3

4月17日(日) 8:45～10:05

A会場(2F スノーホール)

コーディネーター：安藤 雄一(信国立保健医療科学院・生涯健康研究部)  
栗田 浩(信州大学医学部 歯科口腔外科学教室)

### [ 各地におけるコホート研究の取り組み —口腔と全身との関連— ]

#### SY3-1 「口腔と全身の関連」についての疫学研究の振り返りと展望

国立保健医療科学院・生涯健康研究部

安藤 雄一

#### SY3-2 ながはまスタディの紹介と京都大学口腔外科の取り組み

京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座 口腔外科学分野

福原 紫津子

#### SY3-3 岩木健康増進プロジェクトから見えた口腔と全身との関係

弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座

小林 恒

#### SY3-4 特定健診への歯科健診導入の試み ～信州大学の取り組み～

信州大学医学部 歯科口腔外科学教室

櫻井 精斉

#### SY3-5 山形県コホート研究 ～山形大学医学部歯科口腔外科の取り組み～

山形大学医学部 歯科口腔・形成外科学講座 助教

石川 恵生

## シンポジウム4

4月17日(金) 8:45～10:05

B会場(2F マリンホール)

コーディネーター：田沼 順一(新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野)  
岡田 康男(日本歯科大学新潟生命歯学部 病理学講座)

### [ 肉芽組織の臨床 —特に歯内療法・インプラント処置に対する対応— ]

#### SY4-1 肉芽組織と治癒の病理

東京歯科大学 名誉教授

下野 正基

#### SY4-2 エンドにおける肉芽組織の診断と対応

吉岡デンタルオフィス/東京医科歯科大学

吉岡 隆知

#### SY4-3 インプラントにおける肉芽組織の診断と対応

みかみ歯科矯正歯科医院/日本歯科大学新潟歯学部 歯周治療学教室 元非常勤講師

三上 格

## シンポジウム5

4月17日(金) 10:10～11:30

A会場(2F スノーホール)

コーディネーター：林 孝文(新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野)  
勝又 明敏(朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 歯科放射線学分野)

### [ 歯科人工知能(AI)の可能性 ]

#### SY5-1 歯科画像診断の人工知能

愛知学院大学歯学部 歯科放射線学講座

有地 淑子

#### SY5-2 口腔科学におけるAI等の情報科学技術による異分野融合

大阪大学歯学部附属病院 医療情報室 室長

野崎 一徳

#### SY5-3 医療人工知能技術の最新の動向

岐阜大学工学部 電気電子・情報工学科

原 武史

## ポスターシンポジウム

4月17日(金) 10:10～12:10

B会場(2F マリンホール)

座長：片岡 竜太(昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門)

### [ 地域包括ケアに貢献できる歯科医師の養成 ]

- PS-1** 食支援の視点をを取り入れた高齢者の口腔ケアと QOL  
日本社会事業大学 社会福祉学部 教授 小原 眞知子
- PS-2** 口から食べる幸せと命を支える栄養ケア・マネジメント  
神奈川県立保健福祉大学 杉山 みち子
- PS-3** ミールラウンドや口腔栄養関連サービスをいかに根付かせるか  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 窪木 拓男
- PS-4** 誤嚥性肺炎予防のためのオーラルマネジメント  
～評価と歯科治療の重要性～  
兵庫医科大学医学部 歯科口腔外科学講座 岸本 裕充
- PS-5** 歯科衛生士による誤嚥性肺炎予防のためのオーラルマネジメント  
～口腔ケアから口腔リハビリテーションの実践～  
大阪歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科 専門歯科衛生士 今井 美季子

## 教育研修会

4月16日(木) 12:20～14:20

A会場(2F スノーホール)

座長：中村 誠司(九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野)  
阪井 丘芳(大阪大学 大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室)

### [ バイオフィルムの基礎から臨床まで ]

- 1** デンタルバイオフィルム  
口腔から消化器疾患との関連まで  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座う蝕学分野 教授 野村 由一郎
- 2** 抗酸菌とバイオフィルム  
呼吸器内科医の立場からスタートした基礎研究  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 細菌学分野 立石 善隆
- 3** 微生物制御3.0の展開  
～微生物も群れて会話している～  
筑波大学生命環境系・微生物サステナビリティ研究センター 教授  
JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト 研究総括  
東京大学 生物生産工学研究センター 客員教授 野村 暢彦

### サテライトセミナー1

4月16日(日) 18:30～20:30

A会場(2F スノーホール)

国際歯科医療安全機構・学術集会

### サテライトセミナー2

4月16日(日) 18:30～20:30

B会場(2F マリンホール)

第23回顎顔面手術手技研究会  
「根治的頸部郭清術変法」

### サテライトセミナー3

4月16日(日) 18:30～20:30

C会場(3F 中会議室301)

第24回口蓋裂公開勉強会  
「口唇二次修正術 一私の工夫一」

### サテライトセミナー4

4月16日(日) 18:30～20:30

D会場(3F 中会議室302)

第14回口腔顎顔面核医学フォーラム学術集会  
(PET 核医学歯科認定医制度の認定審査申請資格に関する指定核医学関連学術講演会)

### サテライトセミナー5

4月16日(日) 18:30～20:30

E会場(2F 中会議室201)

第2回一般社団法人全国医学部附属病院科長会議  
理事会・社員総会  
第49回 定例会

## ランチョンセミナー1

4月17日(金) 12:10～13:00

C会場(3F 中会議室301)

座長：中島 純子(東京歯科大学 老年歯科補綴講座)

### 医科・歯科領域における舌圧検査の活用

小野 高裕 新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野

共催：株式会社ジェイ・エム・エス

## ランチョンセミナー2

4月17日(金) 12:10～13:00

D会場(3F 中会議室302)

座長：小川 祐司(新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 予防歯科学分野)

### 口腔内から全身につながる感染症と耐性菌

齋藤 翔 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 総合感染症科

共催：サンスター株式会社

## ランチョンセミナー3

4月17日(金) 12:10～13:00

E会場(2F 中会議室201)

座長：池邊 哲郎(福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学 口腔外科学分野)

### 1 若手研究者のための論文投稿のすすめ

阪井 丘芳 大阪大学 大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 教授

### 2 英文学術ジャーナルの現状と論文投稿のいろは

山田 麻未 ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社 学会英文誌出版部

共催：口腔科学会・OSI

# 一般演題 プログラム

※抄録集における座長の記載につきましては、各座長依頼の最終確認を行う前に、  
学術集会の Web 開催が決定しましたので省略させていただきます。

4月16日(木)

15:30～16:10 **基礎的研究 感染症 / 炎症・免疫性疾患 / 粘膜疾患** B会場(4F マリンホール)

- 1-B1-1** メタゲノム解析を用いた大動脈弁の細菌叢解析と口腔内状況との関連  
昭和大学歯学部 口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門 葎葉 清香
- 1-B1-2** 希少糖 D- プシコースの、口腔内細菌に対する増殖抑制効果  
香川大学医学部 歯科口腔外科学講座 永峰 優一
- 1-B1-3** 口腔粘膜上皮細胞における *Candida albicans* 細胞壁構成成分による  
CEACAM1 の発現誘導と認識機能  
広島大学 大学院医系科学研究科 口腔外科学 佐久間 美雪
- 1-B1-4** シェーグレン症候群唾液腺での MMP-9 過剰発現機序と CXCL10 への関与  
徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔内科学分野 青田 桂子

16:10～17:00 **臨床的研究 薬剤関連顎骨壊死 1** B会場(4F マリンホール)

- 1-B2-1** 下顎薬剤関連顎骨壊死に対する手術法の検討：  
下歯槽神経温存歯槽骨および骨体部感染巣除去術(EGURI法)について  
長崎大学 口腔腫瘍治療学分野 林田 咲
- 1-B2-2** オトガイ下皮弁変法を用いた薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)に対する外科療法  
広島赤十字原爆病院 歯科口腔外科 明見 能成
- 1-B2-3** 当科における骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する外科治療の臨床的検討  
静岡市立静岡病院 金丸 智紀
- 1-B2-4** 当科で薬剤性顎骨壊死の発症予防のため抜歯施行した患者の臨床的統計  
東北大学大学院歯学研究科 顎顔面・口腔外科学講座 江副 祐史
- 1-B2-5** 当科における薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)の臨床的検討  
大阪急性期総合医療センター 歯科口腔外科 谷口 弘樹

17:00～17:40 **症例報告 炎症・免疫性疾患 / 粘膜疾患** B会場(4F マリンホール)

- 1-B3-1** IgG4 関連疾患を疑った巨大な上顎歯肉腫瘍の1例  
東京女子医科大学医学部 歯科口腔外科学講座 富永 浩平

- 1-B3-2** 亜鉛欠乏性味覚障害に対し亜鉛製剤2剤を用いて治療を行った1例  
北海道大学大学院歯学研究科 口腔病態学講座 口腔診断内科学教室 渡辺 陽久
- 1-B3-3** 薬剤性味覚障害の4症例  
自治医科大学 歯科口腔外科学講座 平野 萌香
- 1-B3-4** デュルバルマブ投与後の重篤な口腔乾燥症により治療中断に至った非小細胞肺癌の1例  
熊本大学大学院 生命科学研究部 歯科口腔外科学講座 新田 珠花
- 1-B3-5** 舌痛を主訴に来院した後頭蓋窩髄膜腫による舌下神経麻痺に伴う舌半側萎縮の1例  
長岡赤十字病院 歯科口腔外科 木口 哲郎

15:30～16:10 **基礎的研究 悪性腫瘍1** C会場(3F 中会議室301)

- 1-C1-1** がんの増殖、糖代謝における乳酸受容体 GPR81 の役割  
大阪大学大学院歯学研究科口腔科学専攻 顎口腔病態制御学講座 顎口腔腫瘍学 石原 翔太
- 1-C1-2** ラット舌癌モデルにおける異常疼痛に対する Protease-activated receptor 2 の関与  
日本大学 歯学部 臨床医学講座 古川 明彦
- 1-C1-3** 口腔扁平上皮癌における膜貫通タンパク CRR9 の病理生物学的役割の検討  
岐阜大学大学院 医学系研究科 口腔病態学分野 井上 敬介
- 1-C1-4** 悪性黒色腫細胞の増殖・遊走における中間径フィラメント関連タンパク質 Plectin の役割  
九州歯科大学 生体機能学講座 口腔内科分野 水田 奏

16:10～16:50 **基礎的研究 悪性腫瘍2** C会場(3F 中会議室301)

- 1-C2-1** 口腔癌における脂肪酸受容体 CD36 の発現と増殖・遊走に関する研究  
富山大学大学院医学薬学研究部 歯科口腔外科学講座 櫻井 航太郎
- 1-C2-2** マウス舌癌モデルでのがん微小環境における癌細胞と T 細胞プロファイル解析  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子免疫学分野、  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 顎口腔外科学分野 加島 義久
- 1-C2-3** 歯肉癌由来がん関連線維芽細胞の免疫学的応答能について  
弘前大学 大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 久保田 耕世
- 1-C2-4** 口腔扁平上皮癌における化学療法剤の感受性を制御する DNA 損傷応答経路  
福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学講座 口腔腫瘍学分野、  
福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 分子機能制御学分野 大林 佑子

- 1-C3-1** 口腔扁平上皮癌患者の予後予測における加療前末梢血の有用性に関する検討  
 広島大学大学院医系科学研究科 分子口腔医学 顎顔面外科学 高橋 秀明
- 1-C3-2** 光学機器による口腔がんの解析  
 東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座 森川 貴迪
- 1-C3-3** 早期口腔癌に対する5- アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断の有用性  
 鶴見大学 歯学部 口腔内科学講座 館原 誠晃
- 1-C3-4** 舌扁平上皮癌における原発巣の深度に関する病理学的臨床研究  
 東北大学大学院歯学研究科 口腔病態外科学講座 顎顔面・口腔外科学分野 黒田 佳奈子
- 1-C3-5** 放射線性口腔粘膜炎の評価法に関する研究  
 弘前大学 大学院 医学研究科 歯科口腔外科学講座 福田 はるか

- 1-D1-1** 北海道大学病院口腔内科における Burning Mouth Syndrome 患者の臨床的検討  
 北海道大学 大学院歯学研究院 口腔診断内科学教室 羽藤 裕之
- 1-D1-2** 小児における生物学的製剤導入と口腔管理について  
 あいち小児保健医療総合センター 歯科口腔外科 加納 欣徳
- 1-D1-3** 局所麻酔薬使用下抜歯時の血圧変動について  
 一高血圧患者のより安全な抜歯を目指して一  
 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 顎口腔再生外科学分野 見立 英史
- 1-D1-4** 周術期の口腔状態と栄養指標との関連について  
 愛知医科大学 大学院医学研究科 口腔外科学 伊藤 邦弘
- 1-D1-5** ながはま0次予防コホート事業における歯周疾患と動脈硬化に関する検討  
 京都大学大学院 医学研究科感覚運動系外科学講座 口腔外科分野 浅井 啓太

- 1-D2-1** 顎骨再建したエナメル上皮腫の臨床的検討  
 東京女子医科大学歯科口腔外科学講座 片岡 利之
- 1-D2-2** 当科における含歯性嚢胞の臨床的検討  
 JA 秋田厚生連 由利組合総合病院 歯科口腔外科 笠井 直栄

理事長講演

海外招待講演

プレコンGRESセミナー

特別講演

教育講演

宿題報告

指名報告

学会賞受賞講演



## 社会の激変に対応した歯科学・歯科医療を考える —日本口腔科学会の果たすべき役割と今後の展開—

丹沢 秀樹

NPO 法人 日本口腔科学会 理事長  
千葉大学大学院医学研究院 口腔科学講座 教授

日本社会は急激に縮小が始まり、その持続性が議論されるほどに厳しい変化が起きつつある。「2025年問題」など、マスコミ等で取り上げられる機会が増えているので、皆様はそれとなく「感じている」ものと思われる。しかし、真の意味とその影響を考える機会は非常に少ない。私は日本学術会議会員、中央社会保険医療協議会など、国の将来を考える経験が多少ありましたので、社会変化や問題点、ならびに歯科学や歯科医療に対する影響に関して解説し、私共の日本口腔科学会が果たすべき役割と今後の望まれる展開に関して、あくまでも個人的なものではありますが、一考察をご紹介します。

「2025年問題」は良く知られている通り、団塊の世代が全て高齢者になることにより生じる問題である。「2040年問題」というのがあり、この前後に高齢者の数の増加が止まる。すなわち高齢者数が最多になり、それ以降は高齢者といえども減少していくターニングポイントとして注目を集めている。さらに、「2050年問題」というものがあり、この時期に高齢化率が非常に上がり、実は、日本という社会が持続する可能性さえ問われており、持続させるためのシナリオなどが現在水面下で精力的に研究されている。この時期に大きな決断とそれに基づく社会政策の大転換が必要であり、失敗すると引き返せない、すなわち社会・国家としての持続性を失う恐れもあると言う研究者さえいるという大切な時期であることは、一般にはあまり知らされていない。これらの「問題」を引き起こしている最大の要因を「高齢化」と考えている方が多いのであるが、実は、それよりも、少子化、労働人口の減少であることを認識する必要があり、経済財政諮問会議等の資料を用いて解説する。

このような状況下、医療界、特に歯科界に求められている大きな3課題として、

- 課題1. 成育への貢献(少子化で生まれた大切な子供を立派に育てる)
- 課題2. 疾病予防・早期発見・重症化予防(医療・介護ニーズと社会保障費を減らし、労働可能年齢を引き上げ、労働者を確保する)
- 課題3. 介護・フレイル予防(健康寿命延伸、医療・介護ニーズと社会保障費を減らす)があげられる。また、歯科の殻に閉じこもらず、口腔科として医療の中に歯科の立ち位置を確立し、包括的医療・ケアに参加・貢献しなければならない。

さらに、産業構造という観点からは、他の産業分野が第4次産業革命(AIなどを用いた高次機能制御)を迎えていると言われる中、歯科界は第二次産業革命(モーターなど電気動力の導入)に留まり、第三次産業革命(オートメーション化、デジタル化、ロボットなど)の見込みさえ付いていない。すなわち、産業構造上は、レストランなどの調理師、接客係(勿論、ハイグレードなスキルも含まれる)と同じフェイズから発展していないのである。しかも、少子化の影響は歯科界にも大きくのしかかっている。一例として、30歳未満の技工士数が1,000人を切っていて、近い将来、補綴

物の供給が困難になると考えられていることがあげられる。

これらの課題を果たすために、アカデミアとしての責任を、さらに学会としての役割を、この時期に認識することが非常に重要である。その上で、単なる職能組合的な組織から脱却し、歯科・口腔科として望まれる具体的な展望を、皆様と一緒に考察してみたい。

#### 略 歴

1982年	千葉大学医学部 卒業
1986年	東京医科歯科大学歯学部 卒業
1991年	千葉大学大学院医学研究課程 修了
1997年	千葉大学医学部 教授
1997年～現在	千葉大学医学部附属病院歯科・顎・口腔外科 科長(併任)
2001年～現在	千葉大学大学院医学研究院 教授
2005年～現在	千葉大学大学院医学研究院 副研究院長

#### 学術・歯科医療関係

1994～1995年	Visiting Scholar, University of North Carolina (USA) (留学)
1995～1996年	Visiting Professor, University of North Carolina (USA)
2000年～現在	Oral Oncology 誌 Editor.
2008年～現在	Oral Oncology 誌 Senior Adviser
2006年～現在	日本口腔顎顔面外傷学会 理事
2009年～現在	日本口腔科学会 理事
2014年～現在	日本口腔科学会 理事長
2014年～現在	日本口腔外科学会 理事
2015年～現在	日本口腔内科学会 理事
2004年～現在	最高裁判所任命 専門委員
2005～2015年	日本学術振興会学術システム研究センター 専門研究員
2005～2019年	厚生労働省 医道審議会歯科分科会(国家試験・研修等委員会) 委員
2013～2019年	厚生労働省 中央社会保険医療協議会 専門委員
2011～2013年	内閣府 日本学術会議 連携会員
2014年～現在	内閣府 日本学術会議 会員
2003～2012年	千葉県 歯科医療協議会 会長
2012年～現在	千葉県 歯口腔保険審議会 会長

#### 大型プロジェクト関係(大型外部資金)

2003～2007年	21世紀 COE プログラム・拠点リーダー
2007～2011年	がんプロフェッショナル養成プラン(千葉大学、筑波大学、埼玉医科大学共同事業。千葉大学主幹)代表責任者
2007～2010年	日本科学技術振興機構(JST)独創的シーズ委託開発事業(開発実施企業: 高信化学株式会社)代表研究者

一般演題

口 演

## 1-B1-1

メタゲノム解析を用いた大動脈弁の  
細菌叢解析と口腔内状況との関連

○葭葉 清香<sup>1)</sup>、桑田 啓貴<sup>2)</sup>、南淵 明宏<sup>3)</sup>、  
中川 博文<sup>3)</sup>、伏居 玲香<sup>1)4)</sup>、糸瀬 昌克<sup>1)4)</sup>、  
八十 篤聡<sup>1)4)</sup>、代田 達夫<sup>1)</sup>

- 1) 昭和大学歯学部 口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門
- 2) 昭和大学歯学部 口腔微生物学講座
- 3) 昭和大学横浜市北部病院 循環器センター 心臓血管外科
- 4) 昭和大学横浜市北部病院 歯科・歯科口腔外科

【目的】口腔内常在菌や細菌由来の内毒素が血管内に入り込むと、菌体やその成分による直接的な傷害作用やサイトカイン産生、免疫担当細胞の応答へ影響を及ぼし、心臓弁疾患などの全身における各種疾患の病態や進行に関与する。微生物の大部分は難培養性であり、分離・培養を行う手法ではごく一部の微生物しか病原体検出の対象とならない。次世代シーケンサーによるメタゲノム解析では、特異的プライマーや病原体ごとに異なる処理なしに、検体中の遺伝情報を網羅的に検索し病原体由来遺伝子を検出するため、既知の病原体はもちろんのこと、未知の新規病原体をも検出する事が可能となる。今回、大動脈弁狭窄症患者から採取した大動脈弁組織の細菌叢について網羅的に解析を行い、対象患者の口腔内状況との関連を検討した。

【材料および方法】15症例の大動脈弁組織から、ビーズ破砕法を取り入れ QIAamp UCP Pathogen Mini Kit (Qiagen) を使用し、DNA を抽出した。DNA を PCR 法で増幅した後、次世代シーケンサーを行って、各種サンプルの塩基配列を解読した。得られたシーケンスデータからヒト由来の配列を除去した後、Kaiju を用いてデータベースに照合し、統計分析ソフトを使用し組成分析、主座標分析、クラスタ分析を行った。

【結果】15症例の大動脈弁組織についてメタゲノム解析を行った結果、154種類の細菌種、9種類の真核生物、1種類のウイルスが検出された。主座標分析結果から、大動脈弁組織は細菌叢により、大きく2群に分類された。2群の口腔内状況について検討したところ、残存歯数、歯周ポケット深さに差は認められなかったが、舌背の細菌数、ブローピング時の出血陽性率に有意差を認めた。

【結論】メタゲノム解析を行うことで、従来の手法では検出が困難であった微量細菌種を検出することができた。大動脈弁組織は細菌叢により大きく2群に分かれる傾向があり、菌血症の発症リスクと関連する可能性が示唆された。

## 1-B1-2

希少糖 D- プシコースの、  
口腔内細菌に対する増殖抑制効果

○永峰 優一、小川 尊明、青木 咲貴、芳地 祐梨、  
安部 大輔、宮寄 亮、田中 麻央、中井 康博、  
中井 史、岩崎 昭憲、大林 由美子、三宅 実  
香川大学医学部 歯科口腔外科学講座

希少糖は、香川大学を中心とした研究により様々な生理作用が明らかになっている。口腔領域では、これまで D- タガトースの *Streptococcus mutans* (以下 *S.m*) に対する作用に関し研究を進めてきたが、その他の口腔内細菌に対する増殖抑制効果や、他の希少糖を用いた研究は少なかった。今回我々は、血糖値上昇抑制、抗肥満作用など、糖尿病の病態改善効果が期待され、一般での応用が進んでいる D- プシコースを用い、*S.m* も含めた口腔内細菌に対する増殖抑制効果を検討した。

口腔内細菌全般を培養できる BHI 培地と、*S.m* を選択的に培養できる MSB 培地に、D- プシコースを添加した寒天培地を作成し、被検者 10 名より採取した唾液を塗布し、好気、嫌気条件で培養を行った。D- プシコースを添加した培地では BHI、MSB の好気、嫌気条件ともに増殖抑制作用を示し、*S.m* のみならず、他の口腔内細菌に対しても広く増殖抑制作用を示すことが示唆された。

また、D- プシコースの歯周病原菌に対する増殖抑制効果も検討した。*Porphyromonas gingivalis* (以下 *P.g*)、*Agregatibacter actinomycetemcomitans*、*Fusobacterium nucleatum* の3菌種に関し、D- プシコースを加えた TSB 液体培地にてそれぞれ培養を行い、培養開始後12時間、24時間、48時間後での濁度を測定したところ、D- プシコースを添加した培地では24時間、48時間後にて3菌種ともに有意に増殖が抑制された。特に増殖が強く抑制されたのは *P.g* であった。

そこで、*P.g* について、病原性を発揮するのに重要となるプロテアーゼであるジンジパインの産生についても検討した。D- プシコースを添加した培地では、ジンジパインの産生が有意に抑制された。

これらの検討により、D- プシコース、はう蝕、歯周病の病態改善、進行抑制に応用できる可能性が示唆された。今後、D- プシコースの口腔内細菌の増殖抑制に対する機序を明らかにするとともに、*in vivo* での検討も進めたい。

## 1-B1-3

口腔粘膜上皮細胞における  
*Candida albicans* 細胞壁構成成分による  
CEACAM1の発現誘導と認識機能

○佐久間 美雪<sup>1)</sup>、太田 耕司<sup>2)</sup>、加藤 大喜<sup>1)</sup>、  
福井 暁子<sup>1)</sup>、鳴瀬 貴子<sup>1)</sup>、重石 英生<sup>2)</sup>、  
武知 正晃<sup>1)</sup>

1) 広島大学 大学院医系科学研究科 口腔外科学

2) 広島大学 大学院医系科学研究科 口腔健康科学  
公衆口腔保健学研究室

【目的】口腔カンジダ症の主な原因菌である *C. albicans* (Ca) は、口腔粘膜上皮に侵入し、上皮細胞を障害する。これまで我々は、Caの感染に対して、口腔粘膜上皮細胞がCaの細胞壁構成成分 $\beta$ -glucanを認識し、ストレス応答蛋白 Heme oxygenase-1 (HO-1) の発現を誘導し、初期免疫応答を行っていることを報告した (*Infect Immun* 22(4), 2018.)。しかしながら口腔粘膜上皮細胞におけるCa細胞壁構成成分を認識する受容体は明らかにされていない。一方、CEACAM1は免疫細胞や上皮細胞に発現する細胞間接着分子であり、血管新生や腫瘍増殖に関与することが知られているが、口腔粘膜における機能は不明な点が多い。今回我々は、口腔粘膜上皮細胞におけるCa細胞壁構成成分によるCEACAM1の発現や $\beta$ -glucan誘導性のHO-1の発現におけるCEACAM1の影響を検討した。

【材料および方法】不死化口腔粘膜上皮細胞 (RT7) におけるCEACAM1の発現を蛍光免疫染色にて検討した。Ca加熱死菌、Ca $\beta$ -glucanを添加し、CEACAM1 mRNA、蛋白の発現誘導をReal-time PCR法、Western blotting法にて検討した。Caおよび酵母由来 $\beta$ -glucanで誘導されるHO-1の発現に対するCEACAM1ノックダウンの影響を特異的siRNAを用いて検討した。リコンビナントCEACAM1を結合させたプレートを用いて $\beta$ -glucan添加によるBinding assayを行った。

【結果】蛍光免疫染色にてRT7におけるCEACAM1の発現と局在を確認した。Ca加熱死菌、Ca $\beta$ -glucanを添加することで、CEACAM1 mRNA、蛋白の発現が増加することが示された。CEACAM1の特異的siRNAによるノックダウンは、Caおよび酵母由来 $\beta$ -glucanで誘導されるHO-1の発現を抑制した。CEACAM1のリコンビナントタンパクとCa $\beta$ -glucanが結合することが示された。

【結論】口腔粘膜上皮細胞のCEACAM1は、Ca感染の際にCa細胞壁構成成分である $\beta$ -glucanを認識することによって、カンジダ感染に対する免疫防御応答を稼働している可能性が示された。

## 1-B1-4

シェーグレン症候群唾液腺での  
MMP-9過剰発現機序とCXCL10への関与

○青田 桂子、山ノ井 朋子、可児 耕一、桃田 幸弘、  
東 雅之

徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔内科学分野

【目的】近年の網羅的ゲノム解析により、シェーグレン症候群 (SS) 口唇腺でのマトリックスメタロプロテアーゼMMP-9とケモカインCXCL10の過剰発現が明らかとなっている。我々は先行研究で、CXCL10は主にIFN- $\gamma$ 刺激により導管細胞から産生されCXCR3<sup>+</sup>免疫細胞を遊走させることを報告している。一方、MMP-9がSS口唇腺で過剰発現となる詳細な分子機序は解明されていない。本研究の目的は、SS口唇腺でMMP-9が過剰発現となる分子メカニズムとMMP-9とCXCL10の関わりを解明することである。

【材料および方法】SS患者より採取した口唇腺を用いてMMP-9の局在を蛍光免疫組織化学染色法にて検索した。正常ヒト唾液腺導管細胞株 (NS-SV-DC) と腺房細胞株 (NS-SV-AC) を用いて、MMP-9 mRNA 発現に影響を及ぼすサイトカインをRT-qPCRにて探索し、シグナル伝達経路をWestern blottingにて解析した。MMP-9ノックダウンNS-SV-DC細胞をIFN- $\gamma$ で刺激しCXCL10産生量をELISAで測定した。

【結果】SS患者口唇腺においてMMP-9は導管細胞に強く発現していた。NS-SV-DC細胞ではIFN- $\alpha$ 、TNF- $\alpha$ 、IL-1 $\beta$ にて著明なMMP-9 mRNAの発現亢進を認めた。一方、NS-SV-AC細胞ではIFN- $\gamma$ でわずかにMMP-9 mRNAの発現亢進を認めた。MMP-9ノックダウンNS-SV-DC細胞では、IFN- $\gamma$ 刺激によるCXCL10産生は抑制された。

【結論】SS口唇腺でのMMP-9過剰発現は、IFN- $\alpha$ 、TNF- $\alpha$ 、IL-1 $\beta$ 刺激により導管細胞から著明に産生されることが原因であると考えられた。さらに、導管細胞からのCXCL10産生にMMP-9が関与している可能性が示唆された。

## 協賛一覧

### ■ ランチョンセミナー共催

株式会社ジェイ・エム・エス

### ■ 広告協賛

アズサイエンス株式会社

医歯薬出版株式会社

株式会社大塚製薬工場

株式会社ジーシー

ジェイメディカル株式会社

株式会社ジェイ・エム・エス

株式会社松風

東洋紡株式会社

ノーベルファーマ株式会社

株式会社モリタ

(五十音順)

### ■ 寄付、助成金

新潟県歯科医師会

新潟大学歯学部同窓会

新潟大学 口腔外科・歯科麻酔科 同門会

社会医療法人仁愛会・新潟中央病院

医療法人社団 ニイガタクリニック

下岡 正八 様(日本歯科大学新潟生命歯学部 名誉教授)

渡部 恒久 様(米沢市開業)

鍛冶 昌孝 様(富山市開業)

碓井 由紀子 様(肴町病院 歯科)

株式会社ユニメディック

(順不同)

2020年4月15日

第74回 NPO 法人日本口腔科学会インターネット学術集会を開催するにあたり、  
上記の皆様よりご支援を賜りました。

この場をお借りして深謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第74回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会

大会長 高木 律男

第74回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会  
プログラム・抄録集

---

大会長：高木 律男

事務局：新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野内  
準備委員長：永田 昌毅  
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274  
TEL：025-227-2885 FAX：025-223-5792

運営事務局：株式会社アド・メディック内  
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310  
TEL：025-282-7035 FAX：025-282-7048  
E-mail：jss74@admedic.co.jp

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>